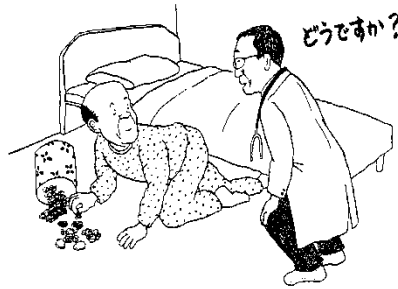


朝日高齢者福祉セミナー2015 テーマ：医療と介護をつなぐ



厚生労働省において、2025年（平成37年）を目途に、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的支援・サービス提供体制である『地域包括ケアシステム』の構築が推進されています。本セミナーでは、病気になっても住み慣れた自宅で過ごすにはどのような準備が必要で、どのような支援が得られるのか等、実際に患者さんを訪問診療されており、『上野千鶴子が聞く 小笠原先生、ひとりで家で死ねますか?』でおなじみの小笠原文雄先生から基調講演を伺います。また、シンポジウムでは、現在現場で医療機関と介護をつなぐ実践をされている方々から多方面に亘る実践報告をお聞きして、現状を学んでいきたいと思います。

日時：2015年6月7日（日）午後1時～5時（受付：午後0時30分から）

場所：「朝日ホール」名古屋市中区栄1-3-3 朝日会館15階（ホテル・ヒルトン名古屋西隣）

◆地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅 **7番出口徒歩5分** ◆市バス停「納屋橋」下車

※ 駐車場はありません。公共交通機関でお出かけください。

1部 基調講演「医療と介護をつなぐ」（午後1時～2時30分）

講師：小笠原文雄氏（小笠原内科医院 院長）

2部 シンポジウム「医療と介護をつなぐ実践」（午後2時45分～5時）

コーディネーター：愛知文教女子短期大学 准教授 柊宜佐統美氏

パネリスト：

- 在宅生活の実際と包括ケア 訪問看護師が果たす役割
あいち診療会 常務理事 藤村淳子氏
- 在宅医療連携拠点事業の活動報告
小笠原内科医院 看護部長 木村久美子氏
- 在宅に向けての退院支援－「安心して療養できる」を目指して－
名古屋大学医学附属病院看護部元地域医療センター退院支援師長 寺田八重子氏
- 在宅に向けての退院支援－リハビリテーションの視点から－
南医療生活協同組合南生協病院リハビリテーション科 理学療法士 脇田晋也氏

【申込み】

●定員：250名（先着順） ●参加費：1,000円（当日受付にてお支払いください。）

●申込方法：葉書にて、下記の住所（内山治夫宛て）に申込みしてください。

葉書には、「朝日高齢者福祉セミナー申込み」と記載し、「〒・住所・氏名」を記入してください。

※個人情報、申込みの確認を目的にしており、セミナー以外では使用することはありません。

●**申し込みは、5月31日（日）まで**にお願いします。（定員に余裕があれば当日参加も受け付けします。）

〒444-0821 岡崎市庄司田3丁目1-16 内山 治夫 行

主催：愛知高齢者福祉研究会、朝日新聞厚生文化事業団名古屋事務所・朝日新聞社

協賛団体：同朋大学、愛知県保険医協会

後援団体：中京大学、東海学園大学、中部学院大学、愛知県医師会、愛知県看護協会、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会、岐阜県社会福祉協議会、愛知県理学療法士会、愛知県作業療法士会、愛知県社会福祉士会、愛知県介護福祉士会、愛知県医療ソーシャルワーカー協会、名古屋市老人クラブ連合会、愛知県認知症グループホーム連絡協議会、愛知県ホームヘルパー協議会